

要 望 活 動 全 体 報 告 書

実 施 日	令和7年8月1日（金）付け
要 望 者	郵送により要望書を提出しました。
要 望 先	○ 内閣総理大臣、総務大臣
要 望 事 項	○ 豪雪による農業被害に関する緊急要望

緊 急 要 望 書



会津総合開発協議会

【構成市町村】

会津若松市

猪苗代町

三島町

喜多方市

北塩原村

金山町

下郷町

西会津町

昭和村

檜枝岐村

会津坂下町

会津美里町

只見町

湯川村

南会津町

磐梯町

柳津町

表紙の「」は昭和 47 年公募により制定された会津総合開発協議会のシンボルマークです。

会津総合開発協議会は、誇りうる郷土会津の輝ける明日を拓くため、「会津はひとつ」の理念のもと、昭和 38 年に当時の全会津 28 市町村が集結し結成した団体です。これからも、郷土愛と地域開発へのあふれる情熱、そして各市町村の強固な結束力を糧として、郷土の発展を願い活動してまいります。

豪雪による農業被害に関する緊急要望

会津地方は、令和7年1月からの記録的な豪雪による被害が甚大かつ広範囲に及び、住民生活に多大な影響が生じたところであります。

特に、会津地域の基幹産業である農業におきましては、イチゴ栽培や水稻育苗用ハウスの倒壊、果樹の樹体の折損など、大きな被害が生じたところであり、営農に多大な影響が及んでおります。

こうした中、今般、農業者の営農継続や産地の維持を図るため、県と市町村が連携し、農産物の生産に必要な施設の復旧等の経費を支援することとし、被災したパイプハウスをはじめとする農業用施設の撤去及び復旧を支援することとなりました。

今回実施する支援事業は、その甚大な被害状況から、対象を大幅に拡大し取り組むものであり、多額の費用を要するため、厳しい財政状況に置かれている会津地域の市町村にとって大きな負担となるところであります。

つきましては、農業者の営農継続や産地の維持を図るとともに、地方財政の安定化を図るため、下記の事項について、特段のご高配を賜りますよう緊急に要望いたします。

記

- 1 今般の豪雪による農業用施設等への被害は甚大であり、農業者の営農意欲と経営継続に大きな影響を与えていることから、その復旧にあたって市町村が十分かつ柔軟な支援を行うことができるよう、地方負担を特別交付税の対象とするなど国による財政措置を講じること。

令和7年8月1日

会津総合開発協議会

会長 会津若松市長 室井 照平

会津総合開発協議会 会員名簿

(市町村長)

会津若松市長	室 井 照 平
喜多方市長	遠 藤 忠 一
下郷町長	星 學
檜枝岐村長	平 野 信 之
只見町長	渡 部 勇 夫
磐梯町長	佐 藤 淳 一
猪苗代町長	二 瓶 盛 一
北塩原村長	遠 藤 和 夫
西会津町長	薄 友 喜
会津坂下町長	古 川 庄 平
湯川村長	佐 野 盛 至
柳津町長	小 林 功
三島町長	矢 澤 源 成
金山町長	押 部 源二郎
昭和村長	舟 木 幸 一
会津美里町長	杉 山 純 一
南会津町長	渡 部 正 義

(市町村議会議長)

会津若松市議会議長	清 川 雅 史
喜多方市議会議長	伊 藤 弘 明
下郷町議会議長	湯 田 健 二
檜枝岐村議会議長	星 浩 彦
只見町議会議長	佐 藤 孝 義
磐梯町議会議長	鈴 木 久 一
猪苗代町議会議長	後 藤 公 男
北塩原村議会議長	五十嵐 善 清
西会津町議会議長	伊 藤 一 男
会津坂下町議会議長	赤 城 大 地
湯川村議会議長	高 倉 好 博
柳津町議会議長	齋 藤 正 志
三島町議会議長	二 瓶 俊 浩
金山町議会議長	五ノ井 義 一
昭和村議会議長	栗 城 徳 雄
会津美里町議会議長	大 竹 惣
南会津町議会議長	山 内 政